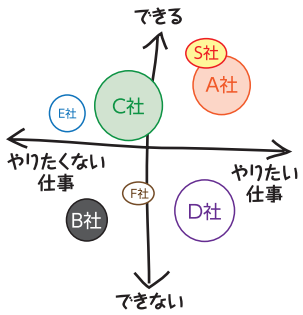
みんなそれぞれに やりたいこと・やりたくないこと そして できること・できないこと という振り分けができる

先日、ある番組で「高学歴ニート」たちを集めてなぜ、働かないのか?を聞いたら、
◎働く意志はあるが、やりたいと思う会社がない。
◎1日4時間、年間180日以上の休みと、
年収3000万以上の収入がないと嫌だと言う。
また、
◎今の団塊世代といわれる年金受給者の年金を自分たちが補うのは嫌だと言う。
全く馬鹿な事を言ってると思いますか?
全く同感だと納得しますか?
いろいろな話が出てきた中で、キーワードとなった言葉が、**「燃焼してますか?」**という言葉でした。
やりたい時に好きだけやって、やりたく無くなったらやめて多くの収入が入ることが一番良いだろうが…。
ただ、現実にこんな事を考えてる若者がいます。
ただ、私が思うことは「やりたいこと」が必ずしも「出来ること」ではない。という事ですね。

マトリクス図というものがあります。
たて軸とよこ軸に対比するものを書いた重なり部分に結果を書けば、方向性を導くことが出来るというもの。
真面目なことだけでなく、遊び半分で書いてみても意外なことが発見できたり、目標が見つかったりするかも?



完全手作り!

アーモンドプードル(アーモンドの粉)作ってみた

大量に有るお土産でもらった生アーモンドを消費すべく、サラダに入れたり、ローストアーモンド作ったりしたけどなかなか無くならない…そうだ粉にしていろんな物に混ぜてしまえ!!

フードプロセッサーでガーってやったら簡単にできるんじゃない?

歯にアーモンドが刺さった状態でただ回ってるだけで細かく出来ず…

アーモンドプードルやめて包丁でスライスアーモンドにしよう!

ボロボロになってうまくスライス出来ない

やっぱりアーモンドプードル作ろう!

①包丁である程度細かく刻む
②すり鉢でひたすら擦る

意外と力がいる
腱鞘炎になりそうだ…
何でこんなに頑張ってるんだろう…

完成

離乳食用のプラ製すり鉢

1時間かけてひたすら擦っても、やっと30gくらいのアーモンドプードルしか出来ませんでした。作ったアーモンドプードルを使って美味しいクッキーを作ることが出来たものの、もう作りたくはないと思いました。まだまだ残っている生アーモンドをどう処理しようか悩んでます。

夏でも編みもの

世はまだまだstayhomeでも、もともとインドアなのであんまり関係なくおうち時間(もはや隠居)を楽しんでる民です。前回は初回からあまりにも飛ばしすぎたので、今回は私の意外すぎる趣味**女子力の権化:編みもの**についてお話しします💗笑

手編みのニットはデザインが古臭いイメージがありましたが、編みもの作家・**三國万里子**さんの洗練されたデザインのウェアや小物を見て一目惚れ! それからはまってまだ1年半くらいですが、編んだものは靴下や手袋などの小物を含めても20こくらい! ずっと家に引きこもって編んでても生産性があるので罪悪感もなく(?)休みの日は一日中編んでます。今日も暑い中、冬用の分厚いアランセーターを編んでますよ〜笑

豆知識

編みものには大まかに2つの編み方があって、編み目の位置を交差させて立体的な模様をつくる**「アラン模様」**(上)と、複数の色を編み込む**「編み込み模様」**(左)があります。

編みものは毛糸を使い切って完成することがほどんどないので、貧乏性の私は余った毛糸でそのまま別のものを編み始め、永遠に編むものがなくならないというループから抜けられません笑 おかげで市販のセーターがどのように編まれているのか見たり、編み図を見ているだけで編んでいるような気分になれたり…動画を観ながらできるので、飽き性の私にしては珍しく長続きしている趣味になりました。この冬に着れるようにがんばるぞ〜!

よもやまばなし

文月:朝顔の間

今月も楽しく覗かせていただきました。決して健康で年金受給できる人たちばかりではないんですよね…その年金に救われる家族がいるのもまた現実かなって。明日何がおこるかわからない昨今、「やりたい事」出来なくてもチャレンジするハートが素敵だなって思います…

おすすめ 3D 映画編

自粛ムードの中、家で映画を観る機会も増えた中、
今回は【初代ジュラシックパーク】
このシリーズは、BD所持してたのだが、海外で初の3D版がリリース!!
気が付いたら、ポチってました。
20年以上前の作品だが、この3D版は4Kに生まれ変わっています。
昨今は2Dカメラで撮影された映画を3Dコンバートした作品は3D感が残念な作品も多いですが、技術の発達もあり、かなり凄いものとなっていた。
しかも、新たに雨の粒や飛び散る木片、巨大ワイヤーが切れて恐竜が出るシーンのワイヤーが3Dで表現されているなど、手の加えられたシーンは飛び出し感・奥行き感には脱帽。
当時では味わえなかった、高画質・3D・追加CGと、盛りだくさん!

正直見飽きた感があったので、この3D版は再鑑賞する良い機会を与えてくれました